

前回の課題文章につけられた吹き出しコメントを読んだ。→はい いいえ 未返却 読めない*

*スマートフォンやタブレットでは、吹き出しコメントが表示されない場合があります。その場合はパソコンで確認してください。

前回の模範文章を読んだ。→はい いいえ

(当てはまる回答だけを残してください。評価には含めません。指導の参考にします。)

【第2回】

予想外なユーモア

XXXXXXXXX
X X X X

一見して、二つのジョークの内容はまるで異なる。【だが】、両者は根本的なところにおいて共通している。共通しているのは、二つのジョークのユーモアの在り方である。いずれのジョークも最後に予測し難い展開を迎える。【そして】、その急展開が読者に不意打ちをかけて笑いを誘う。【たとえば】、最初のジョークでは、借り手の男は貸し手より立場がめっぽう弱い。【それゆえ】、貸し手が借金を半分帳消しにしてくれると発言した時、借り手は感謝するだろうと読者は自然と推測する。【けれども】、借り手は感謝するどころか、むしろ対等な立場から厚かましく『それは有り難い。あとの半分はボクが忘れるよ。』と発言する。【そして】、この不意な厚かましさは読者に衝撃を与える。二つ目のジョークでも同じユーモアが伺える。囚人が犯罪の証拠を隠そうとしていたように見えた。【しかし】、実は奇想天外な方法で警察を誘導し、父のいも畑を手伝っていたのである。【要するに】、いずれのジョークでも、読者の期待をすっかり裏切る奇異な結末が面白いのである。

作業1 数えましょう。私が稼いだ金額は〔 7500 〕円です。

作業2 使った接続表現を【 】でくみましょう。接続表現を、ふんだんに、かつ適切に使えましたか。〔 〕でくる方法 「かっこ」と入力し、示される括弧の中から選択する。)

コメント欄

今回私は一文一義で書くことを心がけました。また、それによって書き上げたいくつもの文を接続表現でつなげました。こうすることにより、多くの短文の間の関係を明確にできたと思っております。

評価のポイントと評価点 指導員 (X X X X)

4/4 点 ①一文一義で書かれている。

4/4 点 ②接続表現がふんだんに、適切に使われている。

コメントの追加 [91]: 【①一文一義】〇趣旨と詳細を、それぞれ一文一義で書くことができました。そのため、読者にとって理解しやすい文章になっています。

コメントの追加 [92]: 【③既習事項】※「めっぽう」はやや文学的な表現です。「圧倒的に」などの言葉使うと学術的文章として、よりふさわしいです。減点なし

コメントの追加 [93]: 【③既習事項】〇会話の引用を『』で括弧することができました！

コメントの追加 [94]: 【②接続表現】〇ここで解説の接続表現「要するに」を使うことで、前の文をうけて、これから結論を述べるということを、読者に効果的に伝えることができています！

コメントの追加 [95]: 読者の期待を裏切る結末が共通点なんですね！

コメントの追加 [96]: 一文一義が意識されているので、読みやすい文章になっていると思います。また、接続表現もふんだんに使うことができました。次回以降も、この調子で頑張ってください！

2/2 点 ③第 1 回で学習した内容が反映されている。
1/1 点 ④自分が特に注意を払った点やコメントに対する感想がコメント欄に書かれている。
11 点満点

〔 11 点中 11 点〕